

介護保険の支給対象となる住宅改修

住宅改修費等の支給対象となる住宅改修の工事種別は、次のとおりとなっています。

1. 手すりの取付け

廊下、便所、浴室、玄関、玄関から道路までの通路等に転倒予防もしくは移動または移乗動作に資することを目的として設置するものです。手すりの形状は、二段式、縦付け、横付け等適切なものとしします。なお、福祉用具貸与として扱われる「手すり」に該当するものは除きます。

2. 段差の解消

居室、廊下、便所、浴室、玄関等の各室間の床の段差及び玄関から道路までの通路等の段差を解消するための住宅改修をいい、具体的には、敷居を低くする工事、スロープを設置する工事、浴室の床のかさ上げ等が想定されます。

ただし、福祉用具貸与として扱われる「スロープ」または「浴室内すのこ」を置くことによる段差の解消は除かれます。

また、昇降機、リフト、段差解消機等、動力により段差を解消する機器を設置する工事は除かれます。

3. 滑りの防止及び移動の円滑化等のための床又は通路面の材料の変更

居室においては畳敷きから板製床材やビニル系床材等への変更、浴室においては床材の滑りにくいものへの変更、通路面においては滑りにくい舗装材への変更等が想定されます。

4. 引き戸等への扉の取替え

開き戸を引き戸、折り戸、アコーディオンカーテン等に取り替えるといった扉全体の取替えのほか、ドアノブの変更、戸車の設置等も含まれます。ただし、引き戸等への扉の取替えにあわせて自動ドアとした場合は、自動ドアの動力部分の設置はこれに含まれず、動力部分の費用相当額は、保険給付の対象となりません。

5. 洋式便器等への便器の取替え

和式便器を洋式便器に取り替える場合が一般的ですが、福祉用具として扱われる「腰掛便座」の設置は除かれます。

また、和式便器から、暖房便座、洗浄機能が付加されている洋式便器への取替えは含まれますが、すでに洋式便器である場合のこれらの機能等への付加は含まれません。

さらに、非水洗和式便器から水洗式洋式便器または簡易水洗洋式便器に取り替える場合は、水洗化または簡易水洗化の部分は含まれず、その費用相当額は、保険給付の対象外となります。

6. その他 1 ～ 5 の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修

1. ～ 5. の住宅改修に付帯して必要となる住宅改修としては、それぞれ次のものが考えられます。

①手すりの取付け

手すりの取付けのための壁の下地補強など

②段差の解消

浴室の床段差解消（浴室の床のかさ上げ）に伴う給排水設備工事など

③床又は通路面の材料の変更

床材の変更のための下地の補強や根太の補強又は通路面の材料の変更のための路盤の整備など

④扉の取替え

扉の取替えに伴う壁又は柱の改修工事など

⑤便器の取替え

便器の取替えに伴う給排水設備工事（水洗化または簡易水洗化に係るものを除く）、便器の取替えに伴う床材の変更など